

# 岐阜県立斐太高等学校

学 校 長 堀川 厚則

学校住所 高山市三福寺町 736 番地 電話 0577-32-0075

- 1 会議の名称 岐阜県立斐太高等学校 学校評議員会（第1回）
- |     |       |                        |
|-----|-------|------------------------|
| 委 員 | 伊藤 松寿 | 有斐会会長                  |
|     | 金子 俊平 | 公益社団法人 高山青年会議所(理事長)    |
|     | 洲岬 梨恵 | 料亭洲さき 女将               |
|     | 二村 陽子 | (株)飛騨高山テレ・エフエム(ナビゲーター) |
|     | 野戸 修  | 育友会 (会長)               |

(委員名は五十音順)

学 校 側	堀川 厚則	校長
	荒井 朝子	事務部長
	奥村 哲也	教頭
	竹本 哲行	教務主任
	山本 直樹	進路指導主事
	奥田 寛	生徒指導主事
	楨本 寛	特別活動部長

- 3 会議の目的 学校運営について、学校外の有識者等から幅広く意見を聞き、本校教育の改善・充実に資するとともに、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。そのため岐阜県立斐太高等学校に学校評議員会を置く。
- 4 会議の開催 平成 27 年 6 月 22 日(月) 13:30～15:30 斐太高等学校(校長室)  
委員 4 人と学校側 7 人が出席
- 5 会議の概要
- 開式 (13:30～13:40)
    - ・ 学校長挨拶
    - ・ 委嘱書交付
    - ・ 自己紹介
  - 蜻蛉祭 (文化祭) 参観 (13:45～14:20)
  - 協議 (14:25～15:30)
    - ・ 蜻蛉祭参観に関する感想・意見
    - ・ 平成 27 年度の重点的な取組 (教頭より)
    - ・ 各分掌における具体的な取組
      - ①教務部
      - ②進路指導部
      - ③生徒指導部
      - ③特別活動部
    - ・ 意見交換「本校教育に対する提言」

(1) 蜻蛉祭参観に関する感想・意見

意見 1 展示について、美術や写真など1つ1つがモダンアートのようによかった。インター  
アクト部の国際貢献活動も昔以上に素晴らしいものでよかった。

意見 2 生徒が落ち着いていて、すれ違う際の挨拶もよい。発表ではそれぞれのクラスの特徴  
が出ていてポスターなどの宣伝も効果的だ。

意見 3 自分の高校時代と比べると展示の工夫がすごい。各クラスの取組、作品のレベルが高  
い。また、文化祭は、今まで話さなかった人とも話せるようになる大切な機会であると  
感じた。このような取組をさらに充実していけるとよい。

意見 4 生徒が全員活発に動いている。明るい生徒が多いと感じた。モザイクアートはレベル  
が高く、特に印象に残っている。武道場での軽音楽の熱気は昔と変わらず圧倒された。

(2) 本年度の各教育活動の説明とそれに対する質問

説明事項 ①平成27年度学校経営計画(高等学校マニフェスト)、斐太高校関係新聞記事  
②教務部 ②進路指導部 ③生徒指導部 ④特別活動部

意見 1 通常の授業は何分か。大学入試は、90分程度の長時間だが、うまく対応できるの  
か？

学校側 通常授業は45分間で実施しているが、大学入試前には2時間連続の授業展開を取  
り入れるなどして対応している。

意見 2 携帯、スマホなどのメール配信という説明があったが、全員登録しているのか？  
学校側 ほとんど登録しているが全員ではない。緊急時には担任が電話連絡するなどして補  
っている。

意見 3 今年の3年生の進路希望状況はどうか？

学校側 例年同様、多くの生徒が4年制大学への進学を希望している。学力的にも例年同様  
の力を持っているので、生徒のもっているエネルギーを受験にうまく結び付けてい  
きたい。

## (2) 本校教育に対する提言

- 意見 1 各部からの説明、資料から、本当に様々な手段で生徒の指導に当たっているのが分かる。大きな方針は現状でよいので、生徒がさらにやる気を出せるように細やかな配慮をしてもらいたい。
- 意見 2 社会人の立場からすると、自分で考えて生き抜いていく力が必要である。将来的に大幅な人口減少が予想されるが、そのような危機的状況も生徒に伝えて考えさせるとよい。
- 意見 3 保育園児と触れ合うようなインターンシップ、また大学の様子が分かる学部学科説明会は重要である。異年齢との触れ合いがないまま大人になったり、漠然としたイメージのまま大学へ進学して違和感を覚えたりしないように適切な情報や十分な体験の機会を設けることが大切である。
- 意見 4 卒業生には、就職する際、もっと多く地元に戻ってきてほしい。高山のよさ、地元に関する情報をできるだけ多く生徒に提供していただきたい。
- 意見 5 高山市が合併してから10年になる。人口減少で現在の制度変更もありうる。生徒をより一層大切に育てていただきたい。

## 6 会議のまとめ

第1回の学校評議員会では、始めに蜻蛉祭（文化祭）を見ていただき、その後、本校の教育活動の概要を説明し、感想および提言をいただいた。

生徒の蜻蛉祭に取り組む姿勢は、昨年度と同様高い評価をいただいた。各委員からは、将来に向けて斐太高校をよくしていくための意見、提言がなされた。